

医学生へのメッセージ

研修医
齊藤 連
(令和2年度採用)

初めまして、国府台病院初期研修医1年目の齊藤連と申します。

研修医の目線から当院についてご紹介させて頂き、医学生の皆様の初期研修病院選びの一助となれば幸いです。

当院が位置する千葉縣市川市国府台は江戸川のほとりで万葉のいにしえより悠久の歴史を紡ぐ、多くの文人墨客にも縁の深い由緒ある故地であり、現在は学校施設や公園の多い閑静な文教地区であります。そんな環境に囲まれた当院は旧陸軍病院に端を発し、2008年に国立国際医療センターへ組織再編されて総合病院として発展を続けている「歴史ある新しい病院」であると言えます。

伝統的に精神科系の診療科が充実している特徴を有していますが、消化器肝臓内科や総合内科といった身体各科も充実しております。また、新宿のセンター病院での救急科や産婦人科研修ならびに選択研修もプログラム内にあるため将来進む診療科を問わず多角的かつ過不足のない研修を行うことが可能です。

上記の特性のため精神科系志望の研修医も多いですが、内科系や外科系の志望者も決して少数ではありません。現在本邦の5大疾病に数えられ、かつ最も多くの患者数を有するとされる精神疾患をもつ方々に対する対応や医療者間での連携などについてのスキルを身につけることは診療科を問わず医師としてこれからの時代を生きていく我々や医学生の皆さんにとっては避けて通れない課題であると思います。当院では「全人的医療」や「心身両面からのアプローチ」といった今後より医師に求められるであろう資質の涵養を第一義にそれぞれ違った魅力を持ち個性の光る、温厚篤実な研修医たちが各々の描く未来に向かって日々邁進しております。

また研修医を含めた医師は全国津々浦々より集っており、様々な背景や考えをもつ上級医の先生方、先輩や同期と公私に渡って関わることは刺激的かつ新たな視点を身につけるのに最適な環境であると常々感じております。

研修内容以外の当院の魅力についてですが比較的オンオフがはっきりしていることや、生活がしやすく都内にアクセスしやすい立地、充実した福利厚生等研修に付随するものは多々ありますが最大のものはなんといっても「雰囲気よさ」でしょう。

学生から一社会人へとステップアップする「研修医」ですが、どこの病院へ就職しようとも誰であっても医師としては0からのスタートです。立場は勿論のこと、業務や生活のことも含めてあらゆる環境が大きく変化して個人差はあれど心身ともに大きな負荷がかかるのは必定です。当院には面倒見がよく、ヒヨコのような

<p style="text-align: center;">研修医 齊藤 連 (令和2年度採用)</p>	<p>我々を常に導いてくださる指導医の先生方やいつも暖かいコメディカルならびに職員の方々、医師として一個人として魅力的な2年目の先輩研修医や同期たちが溢れております。そして、公私問わず嬉しい時も悲しい時も多くのことを互いに分かち合えます。</p> <p style="padding-left: 2em;">あなたも医師人生の第一歩を緑豊かで多くの魅力を有する当院で踏み出してみませんか?「百聞は一見に如かず」と言います。まずは病院見学にて多くの皆様とお会いできる日を心待ちにしております。</p> <p style="padding-left: 2em;">冗長となってしまいましたがここまでお付き合い下さり、ありがとうございました。</p>
<p style="text-align: center;">研修医 芦田 湧基 (平成31年度採用)</p>	<p>初めまして、国府台病院初期研修医2年目の芦田湧基と申します。</p> <p>私は精神科専攻医に進む前提で初期研修プログラムを探して国府台病院に就職しました。国府台病院を志望される学生さんたちには精神科志望・児童精神科志望の方が多く、このページを確認される方も同様だと思います。精神科志望としての視点から国府台病院での初期研修について紹介したいと思います。</p> <p>精神科志望が国府台病院で初期研修するメリットとしては3つの点が挙げられます。</p> <p>まず1つ目には、精神科救急の最前線で治療に関わることで急性期から退院後の生活まで、多職種で連携していく過程に身をおける点です。千葉県精神科救急医療システムの基幹病院に指定されている国府台病院では緊急入院した超急性期の患者さんの入院治療も行っています(措置入院も取ります)。なので、隔離拘束や向精神病薬が導入される超急性期から本人の生活能力を評価してグループホームや地域サポート資源に繋げていく退院まで、精神科救急の最前線ゆえに本当に最初から最後まで過程に研修医ながら関わることができます。後期研修以降、精神科医として働き始めるために国府台病院で得られる臨床経験は非常に有用なものだと考えています。</p> <p>次のメリットとしては、日本で数少ない初期研修中に児童精神科をローテーションできる病院である点です。国府台病院の児童精神科には子どもだけの入院病棟や院内学級があります。児童精神科志望の人だけでなく大人の精神科志望の研修医に関しても、当院の児童精神科を研修できることは国府台病院での初期研修における大きな強みだと思います。発達障害圏、神経症圏の一部など児童思春期における成育過程が非常に重要な疾患について、様々な困難を抱えた子どもたちに関わった経験の有無は、大人の治療にいざ向き合うときに大きな差となるのでは</p>

<p style="text-align: center;">研修医 芦田 湧基 (平成 31 年度採用)</p>	<p>ないでしょうか。そういう点からも児童精神科で研修ができるのは精神科志望にとって大きなメリットだと考えます。</p> <p>3 つ目は、身体科も含め初期研修全体を通して働きやすい病院である点です。初期研修の要項としても、今後精神科の病棟管理をするについても、身体科での研修は必須です。当院ではサポートティブな上級医の先生方たちの下で研修ができるため、何科志望でも風通しのよい環境のなかで働きながらしっかりと勉強することが叶います。国府台病院の研修医が見学の学生さんたちによく言っていることですが、当院は医者・コメディカルの風通しがよく非常に雰囲気の良い病院だと思います。</p> <p>以上、3 つの点から国府台病院の初期研修プログラムは精神科志望にとって間違いない選択肢だと考えています。興味を持たれた方はぜひ病院見学に来ていただければと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしております。</p>
<p style="text-align: center;">精神科レジデント 酒匂 雄貴 (平成 30 年度採用)</p>	<p>当院での初期研修を経て、現在精神科レジデントとして勤務している酒匂と申します。当院は精神科系にルーツを持つ病院ではありますが、現在は総合病院として一般的な診療科について満遍なく経験を積む事が出来、一般的な診療科に進むのであれば誰にでもお勧めできる病院です。特に救急外来と病棟を担当する当直が 1 年を通じてある事は、研修医として総合的な知識・視点を持ち続ける上でとても有用でした。</p> <p>当院の一番の魅力はその雰囲気であり、自分から見ではるか上の先輩も気さくに話しかけてくださり、こちらの質問に対してはいつでも快く答えてくださる環境があります。また、同期には本当に恵まれて毎週のように旅行に行くなど楽しい研修生活を過ごすことが出来ました。研修は技術や知識を身につける時期であると共に、他の医師やコメディカルとの接し方といった医師としての姿勢が定まる時期でもあります。この姿勢は自分ひとりの心がけよりも、周囲の人たちの仕事に対する姿勢に影響される部分が大きいものです。</p> <p>研修医は年度によって変われど、当院の研修医の患者さんに対する真摯な姿勢と同期・後輩に対する優しさはどの代でも共通しているように感じます。当院に興味がある方は是非見学に来ていただき、実際に研修医や上級医の雰囲気を肌で感じていただければと思います。</p> <p>精神科レジデントとして精神科についてお話しすると、精神科・児童精神科・心療内科といった精神科系の診療科が整った総合病院は珍しく、後期研修を見据える上で魅力的な選択肢と考えます。これらの科を初期研修で経験することが出来</p>

<p>精神科レジデント 酒匂 雄貴 (平成 30 年度採用)</p>	<p>る事は当院の大きな特徴で、当院の後期研修に進むとしても他院へ移るにしても精神科系を志す研修医にとって有意義な経験となるでしょう。私は精神科レジデントの中でも児童精神科重点コースであり、将来的に児童精神科レジデントとなる予定です。</p> <p>児童精神科の病棟を初期研修のうちに経験する事が出来る病院は全国で当院のみであり、児童精神科志望の方には特にお勧めできる病院だと思えます。</p> <p>長くなりましたが、最後まで読んでくださりありがとうございました。当院で一緒に働ける日が来るのを心待ちにしています。</p>
<p>消化器内科レジデント 伊藤 はるか (平成 30 年度採用)</p>	<p>消化器肝臓内科、後期レジデント 1 年目の伊藤はるかと申します。当院で初期研修から引き続き後期研修を行っております。</p> <p>国府台病院の良い点の一つとしてまず、総合医局として医局が一つのため、聞きたいことがあれば 2 年目研修医の先輩はもちろん、様々な科の上級医にすぐに相談をする事が出来ることです。そして上級医の先生方からは、研修医が質問をするととても快く熱心に教えて頂けます。同様に診療科間の垣根も低く担当患者さんについて相談したい事があれば、ストレスなくその科の専門の医師に相談をする事が出来ます。それは患者さんにとっても診療を行う立場にとってもよりよい医療を提供するためにとっても大切な事だと思います。</p> <p>私は後期研修で消化器内科へ進む事を決めていたため、研修医の頃から内視鏡モデルや実際の内視鏡を触らせてもらい細かい指導をしていただけました。そのことによりしっかりと手技の基礎を研修医の段階で学ぶことが出来たと思います。</p> <p>最後に私が国府台の良い点として誇れると思うことは、切磋琢磨出来る同期がいることです。12 人と一体感を持つにも程よい人数で、私の代だけでなく前後の先輩後輩たちをみても同期の仲はとてよいく見えました。出身大学は皆ばらばらで、進みたい診療科やキャラクターも様々ですが自主性と向上心は皆共通して持っています。病院での仕事で自信を無くす時も医局に戻れば相談事を聞いてくれたり何気ない話で同期は支えてくれました。研修医時代に得た同期は今でも大切な財産です。</p> <p>当院に興味をお持ちの方は是非見学にいらして実際に病院全体の雰囲気を感じ取って下さい。楽しみに待っています。</p>

<p style="text-align: center;">研修医 松村 美希 (平成 29 年度採用)</p>	<p>私はもともと精神科志望で、研修先として精神科のある総合病院を探す中で当院を知りました。精神科、児童精神科、心療内科のある当院は初期臨床研修病院としてはとても珍しいのではないかと思います。</p> <p>当院は精神科の症例に大変恵まれており、精神科の閉鎖病棟で診る患者さん以外にも、精神科救急やリエゾン症例など幅広く経験することができます。あるいは当直を含め、精神科以外のローテーション中に精神科疾患合併の患者さんを診る機会も多くあります。そういった患者さんたちの訴えをどのように聞き情報収集をするか、どんな検査をしていかに身体疾患の検索をするか。精神科志望の方はもちろんですが、そうでない方にとっても非常に良いトレーニングになるはずです。</p> <p>当院の良いところを挙げる際、将来の志望科に関わらず、あるいは上級医の先生方も含め、「雰囲気良さ」を挙げる人が多いように思います。一度見学に来ていただければわかると思いますが、医師はもちろん、コメディカルも含めて本当に雰囲気の良い病院だと思います。上級医の先生方やコメディカルの方々に気軽に声をかけ相談できることは研修医にとって大きなメリットです。</p> <p>医学的な知識についての疑問、日々の病棟業務など、研修医がぶつかる壁は多岐に渡ります。時には上級医に、時には病棟看護師に、時には薬剤師に、ソーシャルワーカーにと、それぞれの分野のスペシャリストが身近であることはとても勉強になります。</p> <p>ぜひ一度見学にいらして、研修医とその他のスタッフのやりとりにも目を向けてみてください。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。</p>
---	---

※職名は執筆時の職名になります。